

第2回中央区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日 時：平成18年8月26日（土） 午前10時から午前12時まで
場 所：中央区役所4階会議室
出席委員：26名中25名出席（欠席委員：1名）
傍聴人：1名

<次 第>

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題
(1) 地域福祉計画の具体的周知について
(2) パイロット事業について
(3) その他

会議内容

次第に従い、委員長が議長を、副委員長が司会を務め会議が進められた。

(1) 地域福祉計画の具体的周知について

委員長より周知の方法について諮ったところ、案が出なかったため、事務局より、広報紙案に基づき説明。

<質疑応答>

委 員： 広報紙は回覧で回すのか。自治会に加入していないところについてはどうするのか。

事 務 局： 管理組合等代表者が分かれば郵送します。また、区役所、公民館等、公共施設でも配布します。

委 員： 回覧板は見る年代が限られている。また、自治会に加入していない方もいる。他の周知方法は考えているか？

事 務 局： インターネットでホームページに掲載することを考えています。

委 員： 部数は1世帯1部か。

事 務 局： 自治会組数分で、約4,500部です。

委 員： 地区部会を通じて配布はできないか。回覧の量が多いのでなるべく少なくしたい。

委 員： 私たちは町会の推薦で、この協議会に参加している。やはり自治会を通じて回覧するのが良いと思う。

委 員 長： 広報紙は自治会の回覧でまわし、部数を増やして、地区部会でも

同時に配布するということがか。

事務局： そのようにいたします。

委員長： 内容の面ではどうか。

委員： あいさつの紙面上での量が多いのはいかがか。パイロット事業についても具体的な内容・取材した結果等を掲載して欲しい。

事務局： 創刊号ということであいさつについてはご理解をいただきたい。また、パイロット事業についても、第1号に表化して内容等も盛り込んでいきます。

委員長： 年に何回発行予定か。

事務局： 予算の関係もあるので、2～3回と考えています。

委員長： A3版、4ページで、あいさつは短くということによろしいでしょうか。

委員： （特に異議なし。）

（2）地域福祉パイロット事業について

事務局より申請のあった6事業について、事業計画書により説明。

<質疑・応答>

白旗台地区部会 - 事業名；「福祉マップの作成」事業

委員： 2年ほど前に、四街道の「ふきのとう」というグループがすばらしい「福祉マップ」を既に作っている。参考にしたら良いと思う。

委員長： 取り寄せて参考にしてください。

事務局： そのようにいたします。

委員： 事業経費内訳が大雑把だが、これで良いのか。

事務局： この場では事業内容を中心にご意見をいただきたい。経費については、社会福祉協議会の審査委員会できちんと確認する予定です。

東千葉地区部会 - 事業名；助け合い支援「ちょっとボランティア」事業

委員： パイロット事業に関してフロッピーがなく詳細が解らないので、関係資料は詳しく読み上げてください。

委員長： わかりました。

委員： 継続事業と思われるが、2年目以降の財源はどうするのか？

事務局： 会員増強に努めていただくなど、各地区部会で財源を確保していただきたい。

生浜地区部会 - 事業名；「高齢者交通安全教室」事業

委員： 警察に講師謝礼はいらぬのではないかと。

事務局： 審査委員会までに、きちんと確認したい。

ちば中央地区部会 - 事業名「地域福祉マップの作成」事業

委員長： 先ほども福祉マップ作成への意見があったので、同じということ

でよいか。

委員 (特に意見なし。)

松波地区部会 - 事業名「もったいない大学」事業

(質問なし)

寒川地区部会 - 事業名「ふれあい第1回社協まつり」事業

(質問なし)

委員長: パイロット事業全体をとおして何かあるか。

委員: パイロット事業の「補助対象経費」と「補助対象外経費」の違いがわかりにくい。10万円を超えた部分を補助対象外経費に記入するのか。

事務局: 「対象経費」とは、会議費、印刷費等、要綱で定められています。10万円を超えても対象となる経費については、「補助対象経費」に書いていただきます。

「対象外経費」とは、人件費、修繕費などです。解りづらくて申し訳ありません。

委員長: 今後のために、経費の説明を具体的につけたほうがよい。

事務局: わかりました。

委員: 社協まつりやその他の事業の「裏話」や「苦労話」などが聞きたい。この会議に関係者が来てくれるとうれしいのだが。

事務局: 委員相互の中で、交流していただければと思う。事務局としては、そのような機会は考えていない。実績報告はするので、参考になると思う。

委員: 「まつり」や「ちょっとボランティア」は、利用者から実費をもらうことが長く続く“コツ”だと思う。

委員: 収支を考えるなど、今年度だけでなく次年度以降も、続けていくための工夫は必要だと思う。

委員: パイロット事業は地区部会から上がったものだけが対象か。

事務局: そうです。他の団体で考えがあれば、地区部会と連携を図って共催していただくような形になるかと思えます。

委員: 回覧だけでは、申請したくても漏れる人がいる。パイロット事業の対象者は地区部会だけでなく、他にもいるのではないか。せっかくの機会なのでもったいないと思う。

事務局: 今年度に関しては、補助対象団体を広げる予定はございません。しかし、アンテナは高く、ホームページや推進協だよりなど、広報には力を入れていきたい。来年度はより積極的にと考えています。

(3) その他

委員長: 今回の会場は、諸事情で仕方がないと思うが、会議の会場として

は不適切だった。次回の日程を早めに決めたいと思うが、事務局(案)はあるか。

事務局： 10月21日(土)、10月28日(土)であれば、中央区役所4階会議室を押さえてあります。

《委員長が委員と調整した結果》

委員長： 次回は10月28日(土)午前中と決まりました。
会場は中央区役所4階会議室です。

閉会

副委員長が、会議終了を宣言し、第二回中央区地域福祉計画推進協議会を閉会した。